

# ***SUCTION KIT***

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

## 取 付 説 明 書

**R35 GT-R**

# **BLITZ**

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

## 御願ひ！！

- この取り扱ひ説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

## 装着車輜可能車輜と製品の仕様

- 車名：NISSAN GT-R
- 型式：R35
- エンジン：VR38DETT
- 年式：2007年12月～
- 製品名称：BLITZ SUCTION KIT
- 製品番号：55701

## 製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066





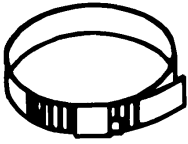


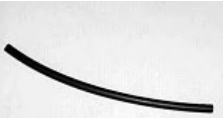
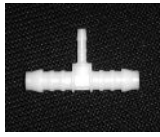
## はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

## 重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輜を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ等）を装着されていたり、事故歴のある車輜の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着すると、車輜によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輜法を守って走行して下さい。
- キット取り付け後の自動車メーカーの保障につきましては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■パーツリスト■

サクションパイプRH	サクションパイプLH	ブラケット (シノイド)	
 1	 1	 1	1
エレボニッブル	ホースバンド (HS-44)	クランプ	
 1	 4	 8	
シリコンホースφ70	シリコンチューブ	3WAY継手	
 2	 1	 1	

### ボルトパーツリスト

フランジボルト M8×20	1	フランジボルト M8×16	1
フランジボルト M6×12	4	フランジボルト M6×16	4
フランジナット M6	2		

## □組み付け作業手順□

### ■作業の方へお願い！

- ・作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

### ■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・再使用する純正のガスケット類も、再使用せず純正品の新品に交換して下さい。

### 警告 作業中の怪我・火傷

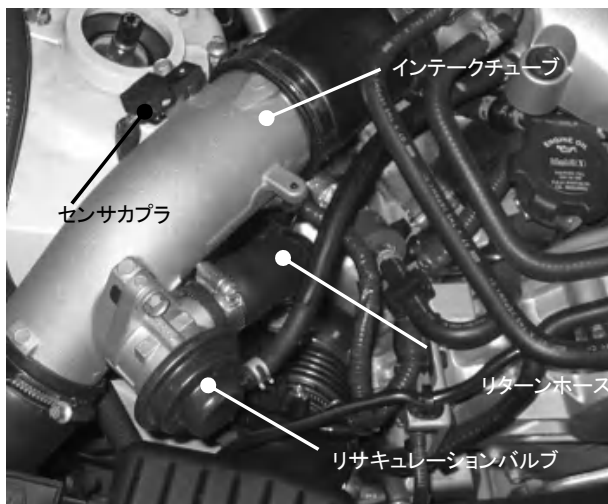
- ・装着作業は専門の知識を持った整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

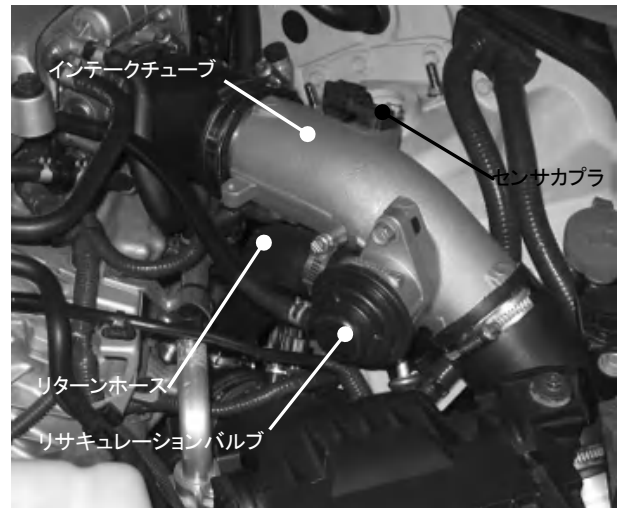
### ■ノーマルパーツの取り外し■

※必要に応じて、取り外したホース及びパイプ類にマーキングを行いながら作業を行ってください。

※作業時はバッテリーのマイナス端子を切り離してください。

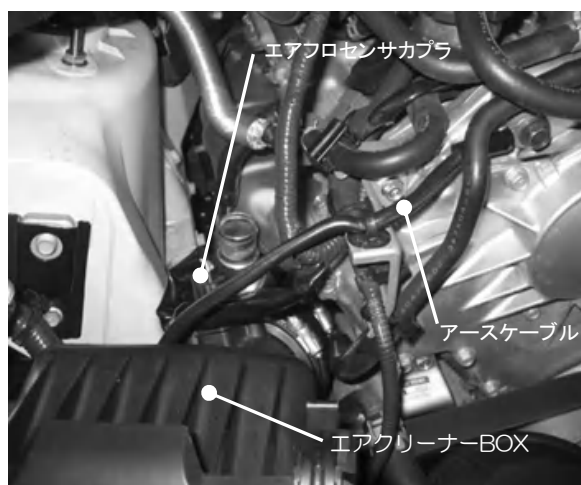


RH



LH

- ①リサキュレーションバルブ、リターンホースを取り外します。
- ②圧力センサカプラ及び、ハーネスを切り離し、インテークチューブを取り外します。



RH

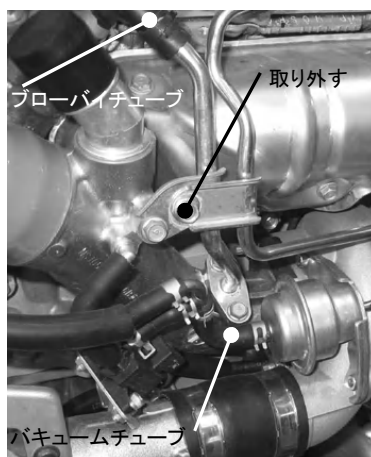


LH

- ③アースケーブル、エアフロセンサカプラを切り離し、エアクリーナーBOX を取り外します。

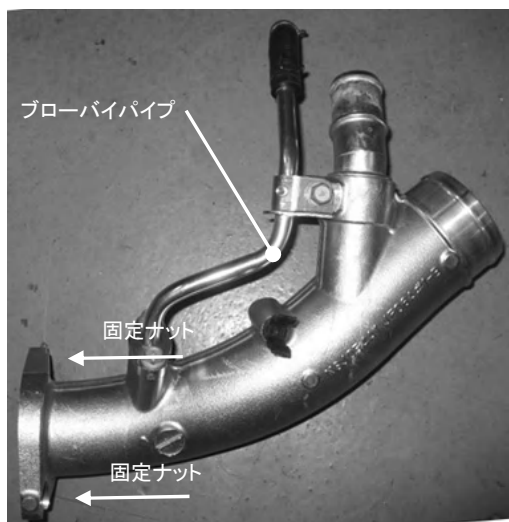


RH

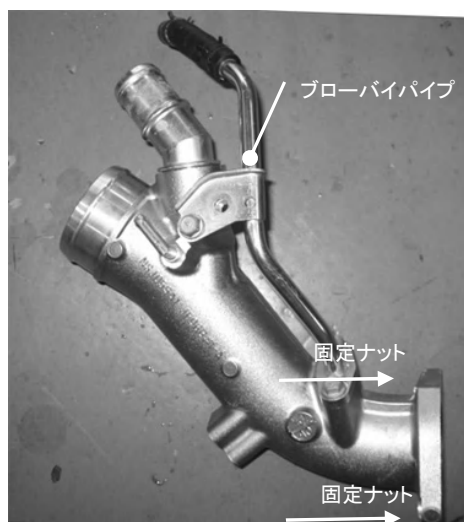


LH

- ④ブローパイプ、アクチュエータへ接続されているバキュームチューブを切り離します。
- ⑤ブローパイプ固定ボルトを取り外します。(LHのみ)

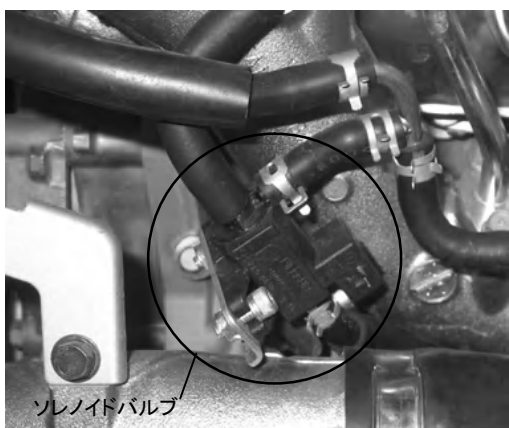


RH



LH

- ⑥ホイールハウス内インナーフェンダーを左右共取り外します。
- ⑦サクションパイプ固定ナットを外し、サクションパイプを取り外します。
- ※画像は取り外した後の画像です。画像のナット指示位置を参考に作業を行ってください。
- ⑧サクションパイプよりブローパイプを取り外します。



LH

- ⑨サクションパイプより、ソレノイドバルブをブラケットごと取り外します。(LHのみ)

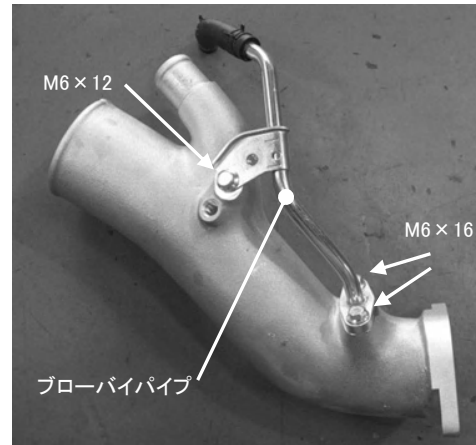


⑩下側のスタッドボルトを取り外します。(LHのみ)

■キットパーツの取り付け■

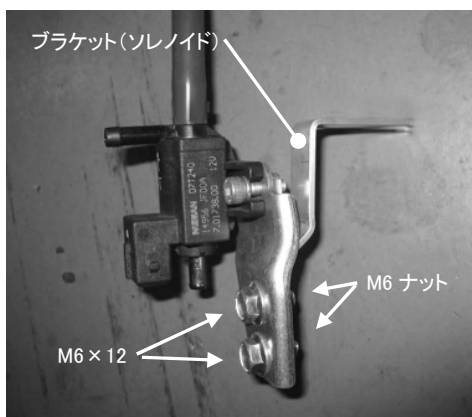


RH

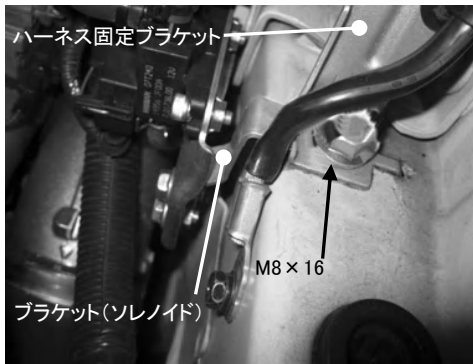


LH

- ①サククションパイプへブローバイパイプを取り付けます。  
 ※付属のフランジボルトを使用して固定してください。  
 ※ガスケットは再使用せずに、新品を使用してください。

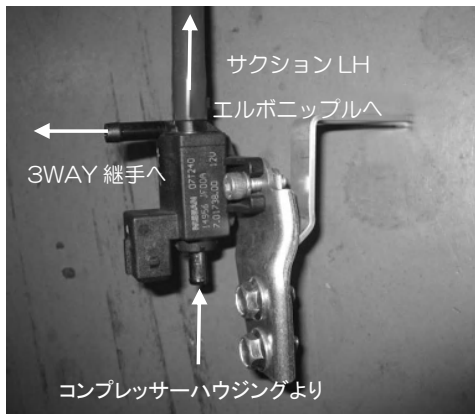


- ②取り外したソレノイドバルブを移設します。  
 図を参考にソレノイドバルブを、ブラケット(ソレノイド)へ固定してください。  
 ※付属のフランジボルト及び、ナットを使用します。



LH

- ③付属のフランジボルト M8×16 でソレノイドバルブを車両へ固定します。(LHのみ)  
 ※ハーネス固定ブラケットの下側へ挿し込み、共締めします。  
 ※カプラの接続を忘れずに行ってください。



LH



LH

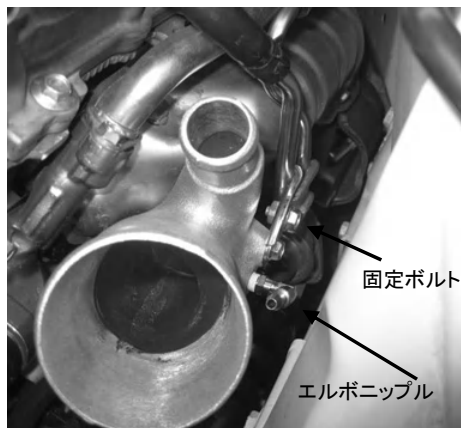


LH

- ④付属のシリコンチューブを使用してソレノイドへエアチューブを配管します。  
 ※シリコンチューブの固定には付属のクランプを使用してください。



RH



LH



LH

- ⑤サクションパイプを車両へ取り付け、ブローバイチューブを接続します。  
 サクションパイプ LH フランジ下側の固定には、付属のフランジボルト M8×20 を使用してください。  
 ※ガスケットは再使用せず、新品を使用してください。
- ⑥ブローバイパイプ固定ボルト、エルボニップルを取り付けます。(LH のみ)  
 ※エルボニップルへ、ソレノイドバルブからのシリコンチューブを接続します。
- ⑦RH アクチュエータニップルへ、取り外したバキュームチューブを接続します。(RH のみ)



RH



LH

- ⑧サクションパイプへシリコンホースを仮付けした状態で、エアクリーナーBOX を車両へ取り付け、シリコンホースで接続します。付属のバンドを使用して固定してください。



◎取り外しと逆の手順で、エアフロセンサカプラ、アースケーブル、インテークチューブ、圧力センサカプラ、リサキュレーションバルブ、リターンホースを取り付けます。

以上でKITの取り付けは終了です。

■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行ってください。
- 各部品はしっかりと固定されているか、エアリークはないか確認してください。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意してください。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

■必ず確認してください。

テスト走行を行い、ブースト圧が正常に掛かっているか、各部に不具合がないかどうか、確認してください。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行ってください。





**BLATZ**